

2021年2月22日

報道関係者各位

東急不動産株式会社
住友商事株式会社
住友不動産株式会社

ブルンズタワー梅田 North
「おおさか優良緑化賞」大阪府知事賞受賞
梅田駅徒歩圏で御堂筋線直結、地上50階建の大規模プロジェクト

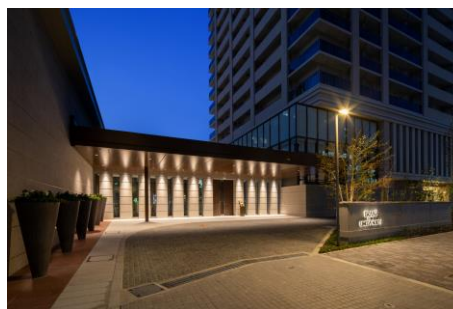
東急不動産株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：岡田正志）、住友商事株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長執行役員 CEO：兵頭誠之）、住友不動産株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：仁島浩順）は、大阪のホテル御三家 旧東洋ホテル跡地で開発した新築分譲マンション「ブルンズタワー梅田 North」（大阪市北区、以下、「本物件」）が、大阪府から「令和2年度 おおさか優良緑化賞」の最上位である「大阪府知事賞」を受賞いたしましたのでお知らせいたします。なお、おおさか優良緑化賞につきましては、東急不動産は4年連続、住友不動産は3年連続受賞となりました。



建物外観



エントランス フォーマルガーデン



コーチエントランス

おおさか優良緑化賞は2007年から大阪府が毎年1度、大阪府自然環境保全条例に定める「建築物の敷地等における緑化を促進する制度」等により届出の行われた緑化のうち、都市環境の改善や都市の魅力向上に貢献するなど、特に優れた取り組みを行った建築主を顕彰する制度であり、建築主の施設に対する緑化意欲の向上や緑化技術の普及を図ることを目的にしているもので、今年で14回目となります。

■本物件について

本物件は、大阪のホテル御三家と呼ばれた「東洋ホテル」（2006年「ラマダホテル大阪」に改称、2013年末閉館）の跡地に立地しています。総戸数 653 戸の梅田エリア最大規模の大型マンションで、Osaka Metro 御堂筋線「中津駅」に直結しています。また、「みどりとイノベーションの融合拠点」をテーマに街づくりが進められている「うめきた」2期をはじめ、複数の大規模再開発が進み更なる発展が期待される大阪の中心地・梅田エリアまで徒歩圏という、将来を含めた利便性の高さが特徴です。2017年7月からの販売開始後、順調に販売が推移し、既に全戸完売となっております。

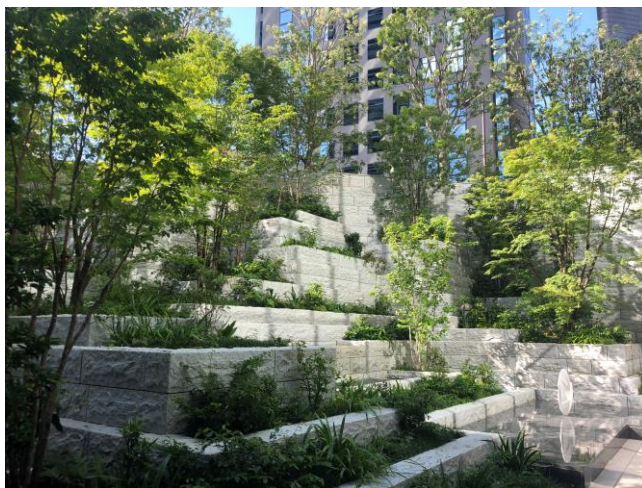
■緑化の概要

この度、受賞対象となった「ブルズタワー梅田 North」は大阪市中心部にある梅田の北側に位置する共同住宅です。ランドスケープのテーマは「ガーデンミュージアム」。高密度な高層建物群の中に、花や実、葉の色による季節の移ろいを感じる、美しく潤いあふれた空間を創出しました。

安心・安全で快適なまちなみ・景観を形成するため、敷地の周りに潤いのある街路樹を植栽すると共に、街角には、道行く人々の目を引く豊かな植栽帯を設けています。特に「中津駅」方面の敷地西側は、既存のケヤキ並木と連続した街路樹を植栽し、街の品格を高めると同時に、庇としての役割も担っており、都市部の貴重な緑陰空間を確保しています。また、周辺環境との調和をとるために、敷地外周を歩道状公開空地としてセットバックし、常緑樹の並木を植栽しました。年間を通じて潤いのあるまちなみを形成するほか、ビル風を和らげ、都市の回遊性向上にも繋がっています。敷地東側の街角には、小さなオアシス空間として、ポケットパークを設けました。

ガーデンラウンジ前のプライベートガーデンは、日本の自然の美しさをより細やかに表現するため、四季をさらに細分化した“八季”に分け、地域に本来生育する郷土種を中心に、個性豊かに植栽を選定しました。緑化に加え、水場を設けることで、小さな「ビオトープ（生物の生息空間）」を創出しました。都市のビオトープ同士を繋ぐ「ビオトープネットワーク」の形成に貢献します。

緑が少ない大阪中心部の市街地において、貴重な緑の潤いを提供し、景観の向上をもたらす施設として高く評価されました。



プライベートガーデン



南側歩道状公開空地



東側シーズンルテラス



西側歩道状公開空地

■物件概要

物件名	ブルンズタワー梅田North
事業者	東急不動産株式会社、住友商事株式会社、住友不動産株式会社
所在地	大阪府大阪市北区豊崎三丁目16番16（住居表示）
交通	Osaka Metro 御堂筋線「中津」駅 徒歩1分 阪急神戸線「梅田」駅から徒歩7分 JR 東海道本線「大阪」駅から徒歩12分
敷地面積	5,154.71㎡
延床面積	68,752.16㎡
総戸数	653戸
構造規模	鉄筋コンクリート造地上50階地下1階
竣工	2020年3月
設計	株式会社大林組
施工	株式会社大林組
ランドスケープデザイン	株式会社 E-DESIGN
造園施工者	株式会社石勝エクステリア